大阪医科大学学歌　 作詞 林 久男 作曲 近藤 義政

 は ひんがし やまむらさき

一 暁映ゆる東の山紫に水白く

　　あめつち　 　あけぼの とばり

　　天地こむる曙の 帳静かに明けゆけば

　　こみどり　　　 　　　べ　 　　　まなびや

　　濃緑つづく松の辺に たつ学舎の影雄々し

 しんり

二 真理の力智の光　仁の泉か朝に夜に

　　 たど

　　慕ひて辿る先賢の　杏林繁く道遠み

　　高き使命を想ひては　たぎるか若き胸の血よ

　　　 じゃくまく　　　　　　 　　 さ

三 それ寂寞の夜は更けて 北斗の星の冴ゆる時

　　ことう もと と 　ふみ

　　孤燈の下に繙く書も 三島の原に踏みしだく

 をぐさ　　　　 　ぞうか　　 　　　さとし

　　小草の露の光にも 造化の秘義の啓示あり

 きたあまやま

四 北安満山に春暮れて　南にうねる大淀の

　　彼方に霞む生駒山　浪速の浦はかぎろひて

　　夕日の西に沈む時　瞬きそむる指南星

　　 なんめい

五 ああ南溟の空遠く　かのアマゾンの岸の花

　　 こんろん　　　 　　　　われら

　　はた崑崙かゴビの原　吾等の春は遠くとも

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　あと

　　消えゆく若き日を惜しみ｢時｣の歩みの跡とめん